

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

平素のご厚情を深謝し、本年も皆様お一人お一人にご満足いただける冊子作りに努力を重ね、精進してまいりたいと存じます。

昨年は、新型インフルエンザ（パンデミック（H1N1）2009）の世界的な流行が見られ、6月にはWHOからパンデミックアラートがフェーズ6に引き上げられるなど、感染症についてあらためて考えさせられる一年でした。

弊社では、遺伝子増幅法（LAMP法）による新型インフルエンザウイルス検出用の研究用試薬として“H1 pdm 2009 プライマーセット”などを11月に発売し、また、体外診断用医薬品の製造販売承認申請を12月中旬に行いました。新型インフルエンザの感染拡大防止あるいは疫学調査等に貢献できるものと期待しております。一方、弊社も協賛しています大腸がん検診の受診促進、早期発見を啓発する「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」では、7月にブレイブサークル運営委員会がNPO法人を取得し、企業や行政・団体と連携しながら各種啓蒙活動を展開しています。11月の「Tokyo健康ウォーク」では秋空の下、およそ1,850名が江戸情緒溢れる町並みを歩きながら、大腸がんに関するクイズに挑戦していました。

弊社は、臨床検査および食品・環境検査分野を事業ドメインとしており、今後もお客様に信頼される製品・サービスを提供してまいりたいと考えております。また、企業経営の重要課題のひとつとして地球環境保全を位置づけ、環境問題への積極的な取り組みとして、環境マネジメントシステムISO14001の年内取得を目指し活動しています。

さて、例年1月号に掲載の“新春放談”では、「ゲノム医学の将来－微生物学はどう変わる」と題し、遺伝子の解明がもたらす微生物学の進歩についてご討論いただきました。耐性菌からワクチンまで幅広い内容をお楽しみください。

最後に皆様方にとって本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成22年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

寺本 哲也